

googleは、近年アンカーテキストマッチよりも関連性が高いページからのリンクを重視してきています。それでは関連性とは何でしょうか。例えば、あなたのサイトが「クレジットカード」で上位表示を目指しているのなら、同じく「クレジットカード」をテーマにしたページからリンクを受けると効果が高いということです。「クレジットカード」がコンテンツの中に含まれていて、クレジットカードと関連性が深いキーワードがコンテンツの中に散りばめられているページからのリンクは効果的です。

関連性が高いキーワードはキーワードツールを使って調べることができます。

https://adwords.google.co.jp/o/Targeting/Explorer?__u=10000000000&__c=10000000000&stylePrefOverride=2

検索欄に「クレジットカード」を記入して「検索」をクリック、次に「関連性」をクリックすると、クレジットカードと関連性が高いキーワードの順番で表示されます。

上から順番に書き出して見ました。

クレジットカード 比較
クレジットカード ポイント
クレジットカード
クレジットカード おすすめ
ゴールドカード
三井住友カード
カード会社
クレジット
visa カード
ゴールドクレジットカード
無料クレジットカード
クレジットカード visa
人気クレジットカード
クレジットカード お得
クレジットカード 即日発行
クレジットカード 現金化
クレジットカード 年会費無料
クレジットカード プラチナ

...

これらのキーワードを使って文章を作ってみます。

ここから

クレジットカードを比較する際の切り口を3種類紹介します。

- 1.ステータスを追い求めるのなら**三井住友カードのゴールドカード**がおすすめです。なぜならゴールドカードの優良会員には**プラチナカード**のインビテーションが来るからです。三井住友カードは**カード会社**としての歴史が古く銀行系クレジットカードなのでブランド力も抜群です。ちなみに三井住友カードが**VISAカード**を強調しているのは率先してVISA加盟店を開拓してきた経緯があるからです。
2. **お得感**を感じたい方は、**ポイント還元率**が高く**年会費無料**のクレジットカードが人気があります。
- 3.早くクレジットカードを手に入れたい！そんな方はカード会社の窓口や提携店舗に出向いてクレジットカードを申し込んでください。**即日発行**されます。

最後に注意事項です。クレジットカードのショッピング枠の**現金化**は利用しないようにしてください。カード利用規約に反するからです。バレるとクレジットカードを没収されます。

ここまで

検索エンジンなどに登録する際に書く紹介文も関連性が高いキーワードを含ませます。下記はみうのメインサイトであるクレジットカードの紹介文です。キーワードツールを参考にして作りまし

た。

ここから

長い紹介文：

現金の代わりに決済手段として利用するクレジットカード。近年、カード会社は格安ゴールドカードを推しているが、人気があるのは年会費無料でポイント還元率が高いクレジットカードだ。それ以外にも国際ブランド（VISA、Master、JCB、アメリカンエクスプレス、ダイナース）の種類やグレード（一般カード、ゴールドカード、プラチナカード、ブラックカード）、キャンペーン時の特典、割引サービス、デザインなどクレジットカードは比較項目が多い。クレジットカードではお得なクレジットカードやおすすめクレジットカードをランキング付けして紹介。クレジットカードの使い方から活用法、審査や付帯保険（海外旅行保険、国内旅行保険、ショッピング保険）、SuicaやEdy・ETCカードとの連携、マイルやロードサービス、カードローンなどの情報も充実。申し込みはぜひ当サイトからどうぞ。即日発行を選べば待たせません。

ほどほどの紹介文：

クレジットカードは比較すべきポイントがたくさんある。しかし、人気があるクレジットカードはポイント還元率が高く年会費無料であることが決め手になっている。クレジットカードの使い方や活用法、審査から付帯保険、おすすめクレジットカードをゴールドカードやカード会社、国際ブランド（VISA、Master、JCB、アメックス、ダイナース）などランキング付けして分類。あなたにあったお得なクレジットカードを見つけるためにぜひ利用して欲しい。

短い紹介文：

年会費に還元率、審査から付帯保険までクレカの比較のポイントが丸分かり。

ここまで

このページは、「クレジットカード」と関連性が高いページになりました。このようなページからみうのメインサイトである[クレジットカード](#)へリンクをはると被リンクの効果が高いです。もう一つ大事なことは、googleは被リンクだけでなくリンク先の関連性も見ています。「クレジットカード」とその関連キーワードがコンテンツにたくさん入っているサイトが「クレジットカード」で上位表示しやすくなります。まあ、いくら関連性が高くても更新されなければ効果はゼロということもここでも言っておきます。

【補足】

googleは賢いことに「クレジットカード」というキーワードそのものはどこにも載っていなくても、クレジットカード関連キーワードがたくさん含まれていれば、そのページはクレジットカードについて書かれてあるページだと判断することができます。

例えば、

「審査が甘い会社を教えてください。キャッシング枠付きを希望します。このままでは現金化を利用することになりそうです。」

なんて書いてあるページを見れば、これはクレジットカードに関する内容だとgoogleは認識します。そのようなページからクレジットカードサイトへリンクをはっても、高い被リンクの効果を得ることができます。

ここから姉妹サイトの紹介

googleは発リンク周辺のテキストも見ていると言われています。リンクだけを羅列するよりも、周りに関連性が高いコンテンツを入れると効果が高いです。

クレジットカードランキングサイトで上位に来るクレジットカードはだいたい決まっている。まず年会費無料であることとポイント還元率が高いことが絶対条件だ。近年カード会社は、格安ゴールドカードに力を入れているがこちらは年会費がかかる割にはサービスがいまいちなので人気がない。

SEO対策 被リンク

クレジットカードにも約束事がある。延滞をしないこと。クレジットカードを人に貸さないこと。クレジットカードで購入したものを支払いが終わらないうちに人にあげないこと。クレジットカード

のショッピング枠の現金化は絶対に利用しないように。これは何かというと安物を高い値段で買わせて、法外な手数料を引いた残りをキャッシュバックする商売だ。キャッシング枠を使いつぶしたカード会員が切羽詰って利用している。しかし、そのような業者を利用するとカード会社から退会処分を受けるケースもある。

[クレジットカード](#) [クレジットカード比較](#) [クレジットカードランキング](#) [カード](#) [クレジット](#) [credit card](#) [クレカ](#) [クレジットカード審査](#) [クレジットカードポイント](#) [クレジットカード年会費無料](#)

クレジットカードのキャンペーン時の特典は魅力的だ。例えば楽天カードはもれなく2000ポイントもらえるため人気がある。だからといって申し込み 発行 即解約を繰り返すと社内ブラックになる可能性があるの注意が必要だ。

[クレジットカード](#) [即日発行](#) [クレジットカード申込](#) [キャッシング](#) [消費者金融](#) [カードローン](#) [JCBカード](#) [アメリカンエクスプレス](#) [ダイナース](#) [VISAカード](#) [マスターカード](#)

クレジットカードの使い方に慣れてきたら連携サービスも活用したい。Suica機能が付いたクレジットカードはSuicaの残高が少なくなるとオートチャージしてくれるので手間要らずだ。Edyは端末機にかざすだけで決済できる。クレジットカードの中にはEdyチャージでポイントを付けているものもある。ETCカードがあれば高速道路の料金所を自動通過できる。支払いはクレジットカードから引き落とされる。ETCカードの利用はクレジットカードを持っていることが前提のサービスだ。

[ゴールドカード](#) [プラチナカード](#) [ブラックカード](#) [電子マネー](#) [Edy](#) [Suica](#) [PASUMO](#) [iD](#) [ETC](#) [クイックペイ](#)

ブラックリストに載っていたり無職だとクレジットカード審査に通らない。しかし、そういう信用がない人でもデビットカードは発行できる。VISAデビットカードなら全国のビザ加盟店で利用可能。即時決済という点を除いてクレジットカードと使い方は変わらない。

[ETCカード](#) [海外旅行](#) [マイル](#) [デビットカード](#) [クレジットカード](#) [クレジットカード還元率](#) [クレジットカード](#) [海外旅行保険](#) [クレジットカードリンク集](#) [クレジットカード](#) [クレジットカード](#)

クレジットカードを比較するためには自分が必要なサービスに絞って比較すると選びやすくなる。ポイントやマイルが貯まりやすいカードだけに絞るとよりお得なクレジットカードが分かるということだ。これがクレジットカード選びのコツだ。

[クレジットカード%](#) [クレジットカードリンク集](#) [クレジットカードランキング](#) [クレジットカード](#) [アクセスランキング](#) [クレジットカード](#) [クレジットカード](#) [クレジットカード](#) 【 】 【 】

【 】
得するクレジットカードというのは人それぞれだ。海外旅行が多い人であれば海外旅行保険が充実したカードやマイルが貯まるクレジットカードがお得になる。基本的な海外旅行向けサービスなどはどのカードにも付帯されているので、それ以外のサービスで比較しよう。

[クレジットカード](#) [ゴールドカード比較](#) [20代向けゴールドカード比較](#) [マイレージカード比較](#) [ANAカード比較](#) [クレジットカード審査の流れ](#) [クレジットカード審査用語](#) [クレジットカードのポイント](#) [ゴールドカード情報](#) [JCBゴールドカード](#)

クレジットカードにはステータス性がある。ゴールドカードの上にプラチナカードが、その上にブラックカードがある。もちろん上位カードほど審査は厳しく年会費は高くなる。持っていない人より持っている人を高く評価する「所有効果」をくすぐっているのである。

[JCBカード](#) [JCBカードエクステージ](#) [JCBゴールドエクステージ](#) [JCB ORIGINALシリーズ](#) [JCB ディズニーランド](#) [JCB OkiDokiポイント](#) [洋楽](#) [ライフカード](#) [ライフカードポイント](#) [ライフカード](#) [ANAマイル](#)

日本ではクレジットカードの利用率は7%と低い。クレジットカードはカード会社、加盟店、カード会員で成り立っているのだが、利用率の低さはその構造に問題がある。一つは加盟店手数料が高いため普及が進まない。アメリカではキャッシングやリボ払いによる利用が多い分、加盟店手数料は日本よりもずっと低い。そのため加盟店はカード決済の導入に前向きだ。一方、日本人は借金が嫌い一括払いを好むので、カード会社は加盟店手数料に頼らざるを得ない。

[電子マネー](#) [クレジットカード還元率](#) [JALカード](#) [VISAカード](#) [デビットカード](#) [ワールドキャピット](#) [トラベルキャッシュ](#) [VISAデビットカード比較](#) [デビットカードのしくみ](#) [NTTカード](#)

女性向けクレジットカードはあるが男性向けクレジットカードは殆どない。男性専用にするメリットがクレジットカード会社にならぬからだ。女性をターゲットにすると口コミで広まりやすいというのも理由の一つかもしれない。ポケットカードが発行する1%割引のP-oneカードはほとんどクチコミで広まったカードだ。男がメリットがあるクレジットカードを持っていてもあまり人には勧めないだろう。

[NTTカードのポイント](#) [ANAカード](#) [ANAカード比較](#) [ANAアメリカンエクスプレスカード](#) [三井住](#)

[友カード](#) [三井住友カードクラシックカード](#) [三井住友カードゴールドカード](#) [三井住友カードアミティエ](#) [アフィリエイト](#) [クレジットカード](#) [審査](#)

セゾンカードやOMCカードは流通系の親会社の経営難で銀行系になった典型的なクレジットカード会社だ。信販系でも同様に日本信販やセントラルファイナンスなどは銀行子会社となった。しかし特に流通系カードはサービスをそのまま継続しているの、資本は銀行でもサービスはそのままというケースが多い。一方で信販系のカードは無くなる傾向にある。流通系のように女性会員が多いというメリットがないからだろう。

[ゴールドカード審査](#) [クレジットカード審査](#) [主婦](#) [アメックス](#) [ANA](#) [アメリカンエクスプレスカード](#) [アメリカンエクスプレスカード](#) [マイルカード](#) [ANAカード](#) [比較](#) [JALカード](#) [比較](#) [学生カード](#) [クレジットカード](#) [比較](#)

クレジットカードには国際ブランドが付いている。VISAとマスターカードが世界でもっとも加盟店数が多い。JCBは日本で一番加盟店が多い。ダイナースクラブは高級店に多い。アメリカンエクスプレスは以前は高級店志向だったが、セゾンやANAとの提携し大衆化が進んでいる。